

講師のご紹介

日本地図学会評議委員、日本地図センター理事 ^{たしろ ひろし} 田代 博 氏

1950年広島県尾道市生まれ。72年大学卒業後、神奈川県立高校数校の教諭を経て、1997～2013年度まで筑波大附属高校教諭(社会科地理)。現在明治大学、聖心女子大学などの非常勤講師。日本地図学会評議員。日本地図センター理事。地図地理検定委員(委員長)。NHK高校講座地理講師。

全国の主な山・町からの山岳展望図の作成と富士山が見える地域の図化・限界の地の確認、そして総合科学としての山岳展望学の確立をライフワークとする。特に最近、富士山の展望、ダイヤモンド富士に熱中しており、テレビやラジオにも出演して、その楽しさを訴えている。

著書：地図や山岳展望に関する著書多数。最近の著作『今日はなんの日、富士山の日』(新日本出版社)、『富士山の謎』(祥伝社)、『世界の富士山』(新日本出版社)

本セミナーでは、『こんな富士山の眺め方がある!～「見力の山」富士山の意外な景観を地図から探る～』をご講演いただきます。

三保羽衣アメリカクラブ事務局長、静岡県地域史研究会会員 ^{えぐち としろう} 江口 敏郎 氏

1940年生まれ。慶応義塾大学法学部卒。日本IBM勤務。退職後、静岡大学院考古学課程に学び修了。清水区三保在住。

著書：『季刊清水』に「江尻城 忘れられない城」、「アメリカで生まれ おおごととして三保の家を守る」、「三保のアメリカ村」、「生け花で心の架け橋となる」等を寄稿

本セミナーでは、『宝永・安政の大地震から学ぶ』と『二つの清水 岡清水と浜清水』をご講演いただきます。

地域マップ研究所の活動報告

本セミナーでは地域マップ研究所の活動を紹介します。

『3D地図で見る富士山から駿河湾、三保半島の旅』

『GISを活用したBCPの強力パートナー! Map Lab クラウド』

地域マップ研究所の紹介

地域マップ研究所は、地域が持つくらしや文化、歴史などの資源を生活者の視点で地図に表現することを目的に活動しています。その『地図』を皆さまに活用していただき、地域のお役に立てられればと考えています。

また、表現手段としての地図や様々な使いみちにあった地図の紹介、『迅速図によるまちの変遷』、『富士山ハザードマップの立体化』等により、皆さまにとって地図がより身近なものになればと思っています。

私たちは、『地図』の上に『文化』を載せていきたい。そんなことを考えている仲間の集まりです。

NPO法人『地域マップ研究所』
〒411-0035 静岡県三島市大宮町2丁目16-21
Tel 055-971-3132

会場案内



JR東海道本線「清水」みなと口より徒歩5分。駐車場は有料です。公共交通機関をご利用下さい。

講演会申込み書

下記事項を記入の上、6月1日までにお申込下さい。

申込み専用FAX
055-977-8600

住所

氏名

(団体名:)

年齢

電話番号

参加人数 _____ 人

※多数での参加の場合は代表者のみ記載し、参加人数を記入してください。

インターネットでの申込みも受け付けます。

下記アドレスから申込みフォームに必要事項を入力下さい。

<http://www.chiiki-map.com/seminar/mousikomi.htm>

本セミナーに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

講演会係：静岡コンサルタント株式会社内、山田 Tel 055-977-8080

お問合せは平日、9時～17時にお願いします。

なお、参加定員は申込み順50人です。定員を超えた場合はご連絡いたします。

申込み時にご提供いただく個人情報は講演会の運営のために用いるものです。皆さまの個人情報を保護するために細心の注意を払います。